

ひと街しごと

平成16年(2004)6月(年4回発行)
発行:(社)印刷紙工
札幌市中央区南15条西18丁目
Tel(011)561-3597

編集:ひと街しごと刊行会
札幌市中央区北1条西17丁目
北海道不動産会館4階
街編集工房海内 Tel(011)623-6652

No. 8



いつも誰かの

笑顔に出会おう

歴史はいつも未来へのみちしるべです。
世の中の進むスピードと自分の生きていくペースが、
少し合わなくなってきたなと感じ始めたら、
思い出カードを一枚一枚めくっていきましょう。

地域の崩壊という言葉が聞かれる昨今。人と人とのつながりも薄くなったようです。ことさらに地域などといわなくても、人の住むところ道があり商店があり、職人がいるという、自然な成り立ちそのままのような町がどこにでもあったのはいつのことでしょうか。いえ、町はあっても、いつも笑顔の交わせるような通りがなくなり、住民も少なくなりました。



思い出カード
まちかど編②



ススキノ・酒——1964

閑古鳥が鳴くようになってからもう何年——

業を煮やした地元誌数社が共同で、中年男性を対象としたクーパーン冊子を刊行したとか、ススキノといえば日本を代表する歓楽街の一つ、栄枯盛衰は世の習いではありませんが

昔は良かったと嘆く中高年も多いようです。さてその四十年前、すなわち昭和三十九年（一九六四）はどんなだったでしょう

ビル化に先べん、グリーンビル

道産清酒は42銘柄、ワンカップ大関発売

昭 和三十九年といえはすぐの思い出すのが東京オリンピック。札幌の人口はまだ七十五万人でしたが、

オリンピック客を当て込んでローヤルホテル、ホテル三愛（現札幌パークホテル）などの新築や増築が相次ぎ、観光都市を目指す動きが見られます。ススキノの寺院周辺の屋台団地の一角、



マンモス交番の建築などもその一環でしょう。

この年、ススキノのエポックメーカーグな出来事は南四条西三丁目、グリーンビルのオープンです。開店休業状態だった同ビルを北海道振興が取得しての、本格営業開始でした。先ごろ経営再建の緒についた同社の、ススキノのビル化に先鞭をつけた功績は大きいといわなければなりません。

同ビルのキーテナントは最上階九階の「宇宙キャバレー」

「月世界」。既存のモロッコ、アカネ、マイプロミス、白鳥クラブといった大團に新しい波を起こして一世を風靡しました。もともともビル化の原因は別なところにも。それは「繁栄の中の恐怖、むかし暴力団、いまは火事」といった見出しも躍るほど、ススキノでは毎年のように大火が発生していたからです。もちろん度重なる火災にもめげず、長らくビル化を拒んできた木造店舗もたくさんあり、横丁や路地に独特の情緒があったのもまた確か。流しのギター弾きも、盛業“でした。

また、写真のような醸造会社直営の酒場があちこちにあったのもこのころの特徴でしょう。簡単なつまみ、安い料金、隣人と肩も触れ合つての喧騒——現今の

ようなスマートな飲み方とはおよそかけ離れたものでした。

日本酒の銘柄もたくさんありました。昭和三十九年七月の北海道酒造組合の新聞広告によりますと、道内には以下の銘柄が。

壬戌鶴、札幌、函館、小樽、多岐、留萌、余市、北の誉、小樽室蘭、浦河、北の鶴、帯広、芽室、十勝清水、金富士、千代乃、寿、北の誉、上札幌、金紋三和鶴、遊楽川（八雲、正泉、神威鶴、北寶、寶川、雪乃花以上小樽）、二世古（俱知安、岩鶴、岩内、万葉、岩見沢、銀鳳、北の誉、夕張、金満、新十津川）、北の誉、登鶴、高砂、男山、旭正宗、住の井、王将、旭川、北海灘（以上旭川）、大雪山（愛別）、福鶴（名寄）、若泉、国乃井、美深、国稀、増毛、利尻、鷲泊、ときわ鶴（早来、鴻の舞、北見）、君が袖（網走）、福司、釧路、朝日桜（同）、亀の露、帯広、北の勝、根室、いろ、媛、同、北の錦、栗山、ざつと四十二銘柄。大手と中小の格差が広がり、合併が始まる前夜といったところでしょうか。現在は十五銘柄しかありません。ちなみにワンカップ大関の発売がこの年。旅行ブームの裏付けです。

一方、ウイスキーはハイニツカとサントリレッド（共に五百円）がCM競争を展開。ブラックニッカ千円ボトルの衝撃デビューは翌四十年。ビール業界はといえば前年、キリン、サッポロ、アサヒ、タカラにサントリーが参入。伸び悩みの焼酎甲類はホワイトリカーに名称を統一して巻き返しに動いたのも同年です。

その焼酎、昨年の出荷量は半世紀ぶりに日本酒を抜いたとか。まさに隔世の感があります。

●写真上／昭和37年の南4西3〜4界わい、写真下／同38年の南5西3〜4界わい、ともに札幌市写真ライブラリー提供
※参考文獻／北海道新聞（昭和三十九年）「北海タイムス」同

一人では歩いてこれない

自分史づくりというものは、自分のことだけを書けばよいのではなく、そのときの自分を取り巻く家族、友人知人、地域、世相のことなどをともに記しながら、自分の歩みを浮き彫りにしていく作業といえます。

たとえば自分が高校三年生のときのことを書いておきたいことがある場合、その当時の家族の仕事や健康状態、住んでいた家や地域、あるいは学校の友人、先生と関連して書くことはきりな

まずは記憶をたどりながらの収集。次は両親や親戚、同級生、幼なじみなどと輪を広げていきます。

古い新聞記事を探すなら図書館のマイクログフィルムが便利。先祖、初代の来道のときから書き起こしたいのなら家系図づくりも必要かもしれない。過去帳を見せてもらったり、除籍簿を取り寄せたりということもプランに入れておきましょう。

世相がさらに感慨深く

資料収集と同時に進めるのが年表づ

一冊つくるなら やっぱり自分史……。

資料の収集、年表づくりを念入りに

趣味の分野や旅行記など本にしたいことはたくさんあるけれど、何度も本づくりができるわけでもないから、やはりきちんとした自分史を残しておきたい。こつこつという人も少なくないはず。そこで心構えを決めて準備から構想までのプロセスを。

くあるはず。それらの取捨選択、ウエイトの置き方は書く段になってのことですが、資料を集めておくに越したことはありません。

どんなものが役に立つのか、それは集めているときはそれほど意識しなくてもよいでしょう。後になってよりはつきりすることです。集めながら方向性が決まってくることもあります。

日記、手紙、手帳、新聞、アルバム、蔵書、コレクション、通知表、パンフレット——あの辺にあったのではと、

年表はノートを開きに使って、自分の歩みと家族史、社会の動き、出来事などを横に並べて書いていきます。自分と家族の項目に資料あり、写真ありの目印をつけておくと、書くときにすぐにそれらを取り出せます。

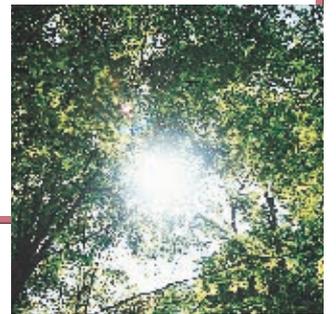
書く前に目次をつくる

さて、こうして資料がある程度集まり、年表が出来上がったなら、自分史全体を思い描いてみます。どういう構成、運びにするかに考えをめぐらせてみるのです。そして章立てです。たとえば第一章、青春時代、第二章、社会人になって、第三章、結婚——といった具合です。さらに第一章の中を小中学校時代、高校時代、大学時代というふうにする。

自分がいちばんウエイトを置きたいのは、仕事の苦労と闘病生活というようなどときは、生い立ちが短い記述に止め、その項目分けを細かくすることもよいでしょう。

この段での作業は、簡単にいえば目次づくり。本全体のおおまかな起承転結を踏まえておくということです。同じことを重複して書くことが避けられますし、書きたい部分の資料の過不足もはつきりするでしょう。足りなければ資料集めを続けてみることで。

構想まで進めば三分の一は出来たも同然。自信を持って原稿書きへ。



職人技を 知らせよう 仕事の魅力を 広めよう

高度で希少な技を持った職人が姿を消していくのは、頑固一徹のあまり時代にマッチした製品を作らず、後継者が次第にいなくなったからという意見を新聞で読んだことがあります。つまるところ、若者がそうした仕事のあることを知らないか、知っていても古臭くて興味を示さないということでしょう。

フリーターやアルバイトでしか生計を立てられない若者に、幅広い選択肢を持ってもらうためにも、業界界上げての仕事のPRは必要のようです。

子供たちの魚離れの原因の一つは骨があるからと、最初からサケの缶詰のように骨まで軟かくして売ろうという試みがスタートしたそうです。魚そのものの魅力——おいしさ、栄養、伝統などを伝

えずして何の魚食文化かと言わざるを得ません。

同様のことは生涯学習ということにもいえるでしょう。生涯学習とは、いかに老後も元気に地域で暮らすかということなのですが、その前に必要なことは、大都会に出なくても生まれた土地に生きがいや魅力はたくさんあるよと、小さい頃から教えていくことでしょう。

見かけではなく、事の本質を伝えていくことがPRです。わが仕事の中身、面白さ、魅力をもっと積極的に若者、ジュニア層に知らせていく努力こそ後継者養成ではないでしょうか。

業界団体がそうした内容に編集した印刷物やビデオテープを、小中高等学校で教材にしてもらったり、図書館で閲覧してもらったりして、仕事を広く知らせたのもです。

企業や団体の周年記念として歴史を記すのも一つの方法ですが、こうした読本、小冊子などを制作して、消費者や学校に無料で配布するのもよいのではないのでしょうか。(ウミネコ)



ここで調べる

札幌ウィンタースポーツミュージアム

冬のスポーツの資料がたくさん

歌は世につれ世は歌につれといいますが、歌をスポーツと置き換えることも、それも道産子ならスキーやスケートです。なつかしい選手が自分史の1ページを思い出させてくれるはず。

そこで冬のスポーツの様々な情報を集めたのが札幌ウィンタースポーツミュージアム。大倉山ジャンプ競技場（札幌市中央区宮の森二二七四番地）と一体になった建物で、

オフシーズンの今なら中をゆつくり見られます。

二階の展示ゾーンに歩を進めるとお目当ての資料がたくさん。まず「冬季オリンピックの歩みと日本の歴代メダリスト」コーナーがウィンタースポーツの歴史と数々の記録を。「札幌オリンピックブックメモリアル」コーナーではハイライトシーンがよみがえります。

このほか「宮様と大野精七博士コーナー」「パラダイスヒュッテ」なども新しい発見がいっぱい。ジャンプなども体験できるので試してみてもいい。電話／六三一―二〇〇〇

本・づ・く・り 相談室



◎自分史に適した本のサイズは……

本の大きさにもいろいろあるようですが、自分史に合うのはどんなサイズでしょうか。経費節減で文庫本サイズも考えていますが可能でしょうか。

▲B5版や四六版、A5版も

世界にただ1冊しかない自分の本ですから、ユニークなものにするのは自由ですが、書店の中を一回りしてみてもおわかりのとおり、大体サイズは同じです。美術書や写真集のコーナーに凹凸が見られるくらいでしょう。

書棚に収まりやすく、紙に無駄がないものということから、やはり規格寸法に沿つ

たサイズが一般的です。自分史や随筆集に多く使われているのはB5判か、それより少し大きい四六判。A5判も多くみられます。

また写真や絵を中心とした本にするならA5判以上に。B5判を横に使うというような方法もあります。

制作費の点からも大判になったり、変形判になったりするとやはり割高になります。文庫本にすると安く上がりそうですが、1ページに入る文字の量を考えるとページ数が増え、コストも大きく変わるということはありません。

書籍・雑誌の大きさ

判型	寸法 (mm)	本の種類
A4判	297×210	楽譜・図集など
A5判	210×148	書籍・雑誌
A6判	148×105	文庫本
B4判	364×257	グラフなど
B5判	257×182	教科書・雑誌
B6判	182×128	書籍など
新書判	182×103	新書
四六判	188×128	書籍など

● 短信

我が家のモノ語り

いつも何気なく使っているものに、これ、いつ頃から使っているんだろう、なんて考えてみたことはありませんか。骨董品とまではいかなくても、我が家の歴史を刻んでくれているものを探してみましよう。

意外とあるじゃないかと。となつたら、それがささやかな本にも。仮のタイトルは「我が家のモノ語り」。それらにまつわる話と写真（イラスト）で

出版ニュース



句集 夕牡丹

榛谷美枝子

(B6判変型) 212ページ

作者は滝川市功労賞を受賞するなど俳壇ではよく知られた人です。大正五年生まれの

構成するのです。芸術写真でなくて結構。普段は使っていないものでも、思い出の品はたくさんあることでしょう。ちょっと押入れにもぐつてみませんか。

■本づくりおしゃべり会
昨年、本づくりに関心をもって頂こうと三回開催した「本づくりおしゃべり会」を、今年もまた開こうと計画しています。改めてお知らせいたします。

■「出前」します
五人以上のお集まりで会場をこ

八十八歳。句作を始めて今年で七十年だそう。すでに亡くなられたご主人は画家の一木万寿三氏。

この句集は第七作目にあたり、平成九年から十三年にかけて詠んだ五百六十七句が収められています。吟行はもちろんのこと街の画廊に出かけたり、商店街を歩いたり、あるいはピヤホールに行ったりと、高齢になつてからも活動的で元気を毎日を送っている様子が伝わってきます。

かつて画廊ありしところの
実玫瑰
秋晴れや停車の長き無人駅
氣に染まぬサングラス掛け
繁華街

用意いただければ、日時等をご相談の上、印刷紙工担当者と編集者がお伺いして、本づくりのアドバイスをいたします。

■記念誌づくりもお手伝い
企業や団体の節目の設立周年（二十周年、三十周年…）にちなんだ記念誌づくりもお手伝いいたします。企画から承ります。

■小紙をお送りします
小紙をご希望の方には、定期的に無料でお送りしております。印刷紙工までお申し込みを。